

国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業

見積参考資料

令和7年9月

(令和7年10月31日追記)

国土交通省近畿地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法等を十分考慮して、設計、工事、維持管理等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料（調査・設計業務）：事前調査業務
2. 見積参考資料（調査・設計業務）：詳細設計業務
3. 見積参考資料（調査・設計業務）：調整マネジメント業務（調査・設計段階）
4. 見積参考資料（工事業務）：整備工事業務
5. 見積参考資料（工事業務）：調整マネジメント業務（工事段階）
6. 見積参考資料（工事監理業務）
7. 見積参考資料（維持管理業務）：点検・補修業務
8. 見積参考資料（維持管理業務）：調整マネジメント業務（維持管理段階）
9. 参考資料

見 積 参 考 資 料

業務名：国道 1 号上鳥羽南地区電線共同溝 P F I 事業（調査・設計業務）：事前調査

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 調査・設計業務（事前調査）

①現地踏査

1 回当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
現地踏査		0.50	1.50	1.00	0.50		

見 積 参 考 資 料

業務名：国道１号上鳥羽南地区電線共同溝ＰＦＩ事業（調査・設計業務）：詳細設計業務

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 道路附属物設計

①交差点照明施設設計

1箇所当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（Ａ）	技師（Ｂ）	技師（Ｃ）	技術員	
現地踏査				0.90	0.30	1.60	
設計計画			0.30				
設計条件の確認・ 交差点照明施設設計						1.00	
設計図					0.80	2.20	
数量計算				0.50	1.40		
踏査			0.60	0.50	0.30		

※1 報告書作成は、設計計画から照査の歩掛に含まれるものとする。

2) 電線共同溝設計

①電線共同溝詳細設計

1箇所当り

	直接人件費						直接経費	備考
	技師長	主任技師	技師（Ａ）	技師（Ｂ）	技師（Ｃ）	技術員	電子計算機 使用料	
設計計画	1.60	1.60	1.60	1.60	0.80		2%	
全 現地踏査		0.80	2.40	1.60	0.80		2%	
体 設計条件の整理・検討		2.20	1.40	2.20	0.70	1.40	2%	
設 平面・縦断線形設計		1.40	2.90	4.30	4.30	5.00	2%	
計 数量計算			2.20	4.30	5.00	7.00	2%	
管路部設計			2.20	3.60	3.60	5.00	2%	
特殊部設計			3.60	3.60	3.60	6.50	2%	
地上機器部設計			2.90	2.90	2.90	2.20	2%	
施工計画		1.40	1.40	2.20	0.70		2%	
関係機関との協議資料作成		1.60	1.60	4.00	2.40	2.40	2%	
照査		1.60	2.40	4.80	4.80		2%	
報告書作成		1.60	3.20	4.00	0.80	3.20	2%	

※1 本歩掛は、電線共同溝詳細設計の修正によるものとする。

※2 電子計算機使用料には、直接人件費の合計額に対する率（％）を記載してください。

※3 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。

※4 本地区は、設計延長2,140mのうち、市街地以外等の延長は245mとする。

3) 共通

①打合せ

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第３編第２章第１節１－１打合せ等を適用

なお、打合せ回数は４回を見込んでいます。

②関係機関打合せ協議

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第３編第２章第１節１－１打合せ等を適用

③合同現地踏査

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第３編第２章第１節１－２その他を適用

④照査技術者による報告

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第３編第２章第１節１－２その他を適用

⑤公開成果品作成

適用基準書：設計業務等標準積算基準書 第３編第２章第１節１－３公開成果品作成を適用

見 積 参 考 資 料

業務名：国道１号上鳥羽南地区電線共同溝ＰＦＩ事業（調査・設計業務）：調整マネジメント業務
（設計段階）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1）調整マネジメント業務（設計段階）

①業務計画

1式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（Ａ）	技師（Ｂ）	技師（Ｃ）	技術員	
計画準備		2.00	6.00		6.00		

②調整監理

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（Ａ）	技師（Ｂ）	技師（Ｃ）	技術員	
調整監理		23.40	117.00		117.00		

③打合せ

1年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（Ａ）	技師（Ｂ）	技師（Ｃ）	技術員	
打合せ		2.00	6.00		6.00		

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道 1 号上烏羽南電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：整備工事業務

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工(夜間)		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	I 型	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板 I 型 H=2.0m 軽量鋼矢板(中古品) I 型 H=2.5m 軽量鋼矢板賃貸料(修理費・損耗費含む) I 型 H=3.0m 供用期間日41日 鋼製切梁サポート賃料 200～1800(程度) 供用期間324日 アルミ腹起し賃料 幅110～120 高さ120～130×4000 供用期間324日 スクラップ ヘビーH1	m t t t 本 本 t	969 0.957 1.482 1.778 4 4 -2.439	
仮舗装工(歩道一般部)(夜間)		式		1					
路盤	土砂 t=210mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	180	
表層(歩道部)	再生密粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚 30mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	842	
仮舗装工(乗入I種)(夜間)		式		1					

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
路盤	土砂 t=290mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	10		
表層(歩道部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	41		
仮舗装工(乗入Ⅱ種)(夜間)		式		1						
路盤	土砂 t=410mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	60		
表層(歩道部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	136		
仮舗装工(乗入Ⅲ種)(夜間)		式		1						
路盤	土砂 t=610mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	30		
表層(歩道部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ； 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	51		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
仮舗装工(車道部)(夜間)		式		1						
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	式		1		下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	2,240		
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整砕石 RM-30 仕上り厚 250mm	式		1		上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整砕石 RM-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	2,240		
上層路盤(車道・路肩部)	再生アスファルト安定処理材(25) 仕上り厚 100mm 1.4m未満	式		1		上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=100 mm；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	2,240		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	2,240		
中間層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		中間層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	2,240		
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	2,240		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
仮舗装工(支道車道部2号)(夜間)		式		1						
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整碎石 RM-30 仕上り厚 200mm	式		1		上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=200 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整碎石 RM-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	11		
上層路盤(車道・路肩部)	再生アスファルト安定処 理材(25) 仕上り 厚 150mm 1.4m未 満	式		1		上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕 上り厚(50mm超100mm以下)(実=75 mm；瀝青材料種類 =ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	11		
						上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕 上り厚(50mm超100mm以下)(実=75 mm；瀝青材料種類 =ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ(各種)；費用の内訳=全ての費用；	m 2	11		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト 混合物(20) 舗装 厚 60mm 1.4m未満	式		1		基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超 え70mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超70mm以 下)(実数=60 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満))；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての 費用；	m 2	11		
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト 混合物(20) 舗装 厚 40mm 1.4m未満	式		1		表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種 類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	11		
仮舗装工(支道車道部3号)(夜間)		式		1						

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整碎石 RM-30 仕上り厚 200mm	式		1		上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=200 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整碎石 RM-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	33		
上層路盤(車道・路肩部)	再生アスファルト安定処 理材(25) 仕上り 厚 100mm 1.4m未 満	式		1		上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕 上り厚(50mm超100mm以下)(実=100 mm；瀝青材料種 類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	33		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト 混合物(20) 舗装 厚 40mm 1.4m未 満	式		1		基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種 類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	33		
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト 混合物(20) 舗装 厚 30mm 1.4m未 満	式		1		表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種 類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	33		
仮舗装工(支道車道部4号)(夜間)		式		1						
上層路盤(車道・路肩部)	再生粒度調整碎石 RM-30 仕上り厚 200mm	式		1		上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=200 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生粒度調整碎石 RM-30；費用の内訳=全ての 費用；	m 2	217		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト 混合物(20) 舗装 厚 50mm 1.4m未 満	式		1		基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種 類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	217		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝P F I 事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
表層(車道・路肩部)(支道車道部4号)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 40mm 1.4m未満	式		1		表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	217	
仮舗装工(支道歩道部)(夜間)		式		1					
路盤	土砂 t=160mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	20	
表層(歩道部)	再生密粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚 30mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	141	
仮舗装工(アスファルト舗装部 支道乗入Ⅱ種)(夜間)		式		1					
路盤	土砂 t=300mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	2	
表層(歩道部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	8	
仮舗装工(アスファルト舗装部 乗入Ⅲ種)(夜間)		式		1					

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
路盤	土砂 t=400mm	式		1		埋戻し 施工方法=最大埋戻幅1m未満；	m 3	10	
表層(歩道部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	式		1		表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	27	
交通管理工(夜間)		式		1					
交通誘導警備員		式		1		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	1,456 1,456	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工(夜間)		式		1					
殻運搬	アスファルト殻(掘削)	m3		601		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1	
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		69		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし；積込工法区分=機械積込；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有無)=14.4km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝P F I 事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分	アスファルト殻(掘削)	m3		601		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m 3	1	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		69		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m 3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		960		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m		5,050		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版切断	コンクリート舗装版 15cm以下	m		2,450		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=コンクリート舗装版；コンクリート舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		440		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m 2	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下	m2		2,300		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込(電線共同溝工) アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下	m 2	1	
舗装版破碎	コンクリート舗装版 15cm以下	m2		1,090		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=コンクリート舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
開削土工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
掘削工(夜間)		式		1					
開削掘削	土砂	式		1		床掘り（電線共同溝工）	m 3	4,300	
埋戻し工(夜間)		式		1					
埋戻し・締固め	流用土 土砂	式		1		埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=土砂；	m 3	850	
埋戻し・締固め	中埋砂	式		1		埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m 3	1,700	
残土等処理工(夜間)		式		1					
土砂等運搬		式		1		運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=3.5km以下；	m 3	3,370	
残土等処分		式		1		残土等処分	m 3	3,370	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)[幹線部](夜間)		式		1					

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 直管 径 150mm	m		1,553		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	角形多条電線管(通信用)直管 径 81mm	m		4,516		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 直管 径 50mm	m		123		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 曲管 径 150mm	m		482		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	角形多条電線管(通信用)曲管 径 81mm	m		1,539		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 曲管 径 50mm	m		101		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	角形多条電線管(電力用)直管 径 130mm	m		35		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
埋設管路	角形多条電線管(電力用)直管 径 100mm	m		3,882		< 1 m当り> 管路材設置	m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
埋設管路	角形多条電線管（電力系通信用）直管 径 100mm	m		8		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	角形多条電線管（電力用）直管 径 81mm	m		2,987		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管（電力系通信用）直管 径 50mm	m		1		管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	角形多条電線管（電力用）曲管 径 130mm	m		33		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	角形多条電線管（電力用）曲管 径 100mm	m		1,242		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	角形多条電線管（電力系通信用）曲管 径 100mm	m		30		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	角形多条電線管（電力系通信用）曲管 径 81mm	m		872		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管（電力系通信用）曲管 径 50mm	m		7		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径 4 mm	m	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 呼び径 150mm用	個		72		< 1 個当たり > 桝接続用継手管 呼150 フリーアクセス管 タクトスリーブ	個	1		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 呼び径 50mm用	個		12		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管桝接続用通信用	個	1		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(電力系通信用) 呼び径 50mm用	個		2		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管桝接続用通信用	個	1		
ブロックヘルマウス	径81 1条用	個		23		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径81 1条用	個	1		
ブロックヘルマウス	径81 2条用	個		71		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径81 2条用	個	1		
ブロックヘルマウス	径81 3条用	個		15		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径81 3条用	個	1		
ブロックヘルマウス	径81 4条用	個		35		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径81 4条用	個	1		
ブロックヘルマウス	径81 6条用	個		3		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径81 6条用	個	1		
ブロックヘルマウス	径100 2条用	個		37		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径100 2条用	個	1		
ブロックヘルマウス	径100 3条用	個		25		< 1 個当たり > ブロックヘルマウス 径100 3条用	個	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝P F I 事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径100 4条用	個		3		< 1 個当り > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径100 4条用	個	1	
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径100 6条用	個		1		ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径100 6条用	個	1	
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径130 1条用	個		3		< 1 個当り > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径130 1条用	個	1	
管枕	電線共同溝用管（通信用）呼び径 150mm用	個		1,585		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 φ150 通信用	個	1	
管枕	電線共同溝用管（通信用）呼び径 50mm用	個		250		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
管枕	電線共同溝用管（電力用）呼び径 50mm用	個		15		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=150 折込率2倍	m		519		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=300 折込率2倍	m		986		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=400 折込率2倍	m		1,409		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=600 折込率2倍	m		1,083		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝P F I 事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路工(管路部)[幹線部以外](夜間)		式		1					
埋設管路	角形多条電線管(通信用)直管 径 100mm	m		7		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	
埋設管路	角形多条電線管(通信用)直管 径 81mm	m		63		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用)直管 径 75mm	m		366		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用)直管 径 50mm	m		1,588		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	
埋設管路	角形多条電線管(通信用)曲管 径 100mm	m		5		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	
埋設管路	角形多条電線管(通信用)曲管 径 81mm	m		139		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用)曲管 径 75mm	m		73		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1	
							m	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 曲管 径 50mm	m		753		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	角形多条電線管(電力用)直管 径100mm	m		453		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 直管 CCVP 径100mm	m		488		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 直管 ECV 径100mm	m		59		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	角形多条電線管(電力用)直管 径81mm	m		1,018		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 直管 径75mm	m		214		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力系通信用)直管 径50mm	m		943		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	
埋設管路	角形多条電線管(電力用)曲管 径100mm	m		359		< 1 m当り> 管路材設置		m	1	
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm		m	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 曲管 径 100mm	m		108		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1		
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 曲管 径 100mm	m		23		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1		
埋設管路	角形多条電線管(電力用) 曲管 径 81mm	m		650		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1		
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 曲管 径 75mm	m		40		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1		
埋設管路	電線共同溝用合成樹脂管(電力系通信用) 曲管 径 50mm	m		667		< 1 m当り> 管路材設置	m	1		
						作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 呼び線 ハイライン 径4mm	m	1		
異種管継手	電線共同溝用管(通信用) 呼び径 75mm 角型FEP管～PV管	個		11		< 1 個当り> 異種管継手 呼81×75 角型FEP管～PV管	個	1		
異種管継手	電線共同溝用管(電力用) 呼び径 100mm 角型FEP管～CCVP管	個		34		< 1 個当り> 異種管継手 呼100×100 角型FEP管～CCVP管	個	1		
異種管継手	電線共同溝用管(電力用) 呼び径 100mm ECVP管～CCVP管	個		3		< 1 個当り> 異種管継手 呼100×100 ECVP管～CCVP管	個	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事			
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項					
						名称	単位	数量			
異種管継手	電線共同溝用管（電力用）呼び径 81mm 角型FEP管～CVP管	個		58		< 1 個当り > 異種管継手 呼81×75 角型FEP管～CCVP管	個	1			
電柱立上管	電線共同溝用管（通信用）呼び径 75mm UC-PS管	箇所		11		< 10 箇所当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(UC-PS管) 管路材設置 露出部 単管設置(UC-PS管) 呼び線 ハイライン 径4mm 異種管継手 呼75×75 PV管～UC-PS管 電線共同溝用通信管 UC-PS曲管 φ75 L=5120 防水キャップ 通信用 呼び径75mm用	m m m 個 本 個	19.7 31.5 51.2 10 10 10			
電柱立上管	電線共同溝用管（通信用）呼び径 50mm UC-PS管		箇所		14		< 10 箇所当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(UC-PS管) 管路材設置 露出部 単管設置(UC-PS管) 呼び線 ハイライン 径4mm 異種管継手 呼50×50 PV管～UC-PS管 電線共同溝用通信管 UC-PS曲管 φ50 L=3585 防水キャップ 通信用 呼び径50mm用	m m m 個 本 個	11.85 24 35.85 10 10 10		
電柱立上管	電線共同溝用管（電力用）呼び径 100mm KGP管			箇所		32		< 10 箇所当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(KGP管) 呼び線 ハイライン 径4mm 異種管継手 呼100×100 KGP管～CCVP管 電線共同溝用電力管 KGP曲管 φ100 L=1632 キャップ 電力用(KGP) 呼び径100mm用(呼び線引留フック付)	m m 個 本 個	16.32 16.32 10 10 10	
電柱立上管	電線共同溝用管（電力用）呼び径 80mm KGP管				箇所		13		< 10 箇所当り > 管路材設置 埋設部 単管設置(KGP管) 呼び線 ハイライン 径4mm 異種管継手 呼80×75 KGP管～CCVP管 電線共同溝用電力管 KGP曲管 φ80 L=1612 キャップ 電力用(KGP) 呼び径80mm用(呼び線引留フック付)	m m 個 本 個	16.12 16.12 10 10 10

見積参考資料

工事名	国道１号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 呼び径 75mm用	個		18		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼75 継手管桝接続用通信用	個	1		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(通信用) 呼び径 50mm用	個		110		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管桝接続用通信用	個	1		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(電力用) 呼び径 100mm用	個		7		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼100 継手管桝接続用通信用	個	1		
桝接続用継手管	電線共同溝用合成樹脂管(電力系通信用) 呼び径 50mm用	個		78		< 1 個当たり > 電線共同溝用合成樹脂管 呼50 継手管桝接続用通信用	個	1		
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径81 1条用	個		48		< 1 個当たり > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径81 1条用	個	1		
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径81 2条用	個		20		< 1 個当たり > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径81 2条用	個	1		
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径81 3条用	個		5		< 1 個当たり > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径81 3条用	個	1		
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径100 2条用	個		10		< 1 個当たり > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径100 2条用	個	1		
ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ	径100 3条用	個		6		< 1 個当たり > ﾌﾞﾛｯｸﾍﾞﾙﾏｳｽ 径100 3条用	個	1		
分岐管	電線共同溝用管(通信用) 呼び径 150×50mm用	個		84		< 1 個当たり > FA分岐管 φ150×50 ステンレスﾊﾞﾝﾄﾞ付	個	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管枕	電線共同溝用管（通信用）呼び径 75mm用	個		337		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼75用	個	1	
管枕	電線共同溝用管（通信用）呼び径 50mm用	個		2,142		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
管枕	電線共同溝用管（電力用）呼び径 100mm用	個		626		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼100用	個	1	
管枕	電線共同溝用管（電力系通信用）呼び径 50mm用	個		1,360		< 1 個当り > 電線共同溝用合成樹脂管枕 呼50用	個	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=150 折込率2倍	m		262		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=300 折込率2倍	m		606		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=400 折込率2倍	m		691		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
埋設表示シート	電線共同溝用 W=600 折込率2倍	m		77		< 1 m当り > 埋設表示シート（材料費）	m	1	
下越し工(夜間)		式		1					
無収縮モルタル		m3		2		< 1 m3当り > 無収縮モルタル打設 人力打設 無収縮モルタル セメント系 フレミックスタイプ	m 3 m 3	1 1	

見積参考資料

工事名	国道１号上鳥羽南電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	Ｃ・Ｃ・ＢＯＸ工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス（特殊部）（夜間）		式		1						
プレキャストボックス	E-1-1柵 950×330 0×1100					< 10 個当たり >				
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当たり質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンスクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンスクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当たり質量=1000kg以下；ラフレレンスクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンスクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	20		
						基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生グラジャラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2	53. 41		
		個		6		モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1. 301		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス	E-1-2桝 950×330 0×1100					< 10 個当り >				
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2	53.41		
		個		1		モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1.301		

見積参考資料

工事名	国道 1 号上鳥羽南電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス	E-1-3樹 950×330 0×1100	個				< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
	個					10				
	個					10				
	m 2					53.41				
	m 3					1.301				
プレキャストボックス	E-2-1樹 950×195 0×1100	個		8		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
	個					10				
	m 2					33.6				
	m 3					0.792				

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝P F I 事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス	E-2-2桝 950×1950×1100	個				< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
			個				個	10		
							m 2	33.6		
					4		m 3	0.792		
プレキャストボックス	E-3桝(歩道用) 1000×3000×1800	個				< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
			個				個	10		
							m 2	54		
					1		m 3	1.326		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス	E-3樹(車道用) 1000×3000×1800	個		4		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個					10				
基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2					54				
モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	m 3					1.326				
プレキャストボックス	E-4樹 500×1200×400	個		3		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2					14.4				
モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	m 3					0.294				

見積参考資料

工事名	国道 1 号上鳥羽南電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス	E-5樹 840×4700 ×1500	個			1	< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	20		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生グラッサラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2	67.86		
						モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1.657		
プレキャストボックス	E-6樹 650(1200) ×3200×1100(700))	個			1	< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	10		
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	20		
						基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生グラッサラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2	36.036		
						モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	m 3	0.815		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
プレキャストボックス	E-7桝 950×1950×1500	個				< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
			m 2	33.6						
			m 3	0.792						
プレキャストボックス	RT-1桝(歩道用) 1200×2200×1500	個		3		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
			m 2	39.216						
			m 3	0.942						
プレキャストボックス	RT-2桝(車道用) 1200×2200×1500	個		17		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10		
			m 2	39.216						
			m 3	0.942						
				9						

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	RT-3柵(歩道用割込み柵) 1200×2200×1500	個		3		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10	
						m 2	39.216		
						m 3	0.942		
プレキャストボックス	RT-4柵(歩道用片柵) 950×2200×1500	個		2		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10	
						m 2	32.512		
						m 3	0.758		
プレキャストボックス	P柵HH 600×600×900	個		9		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； モルタル練 セメント種類=高炉；費用の内訳=全ての費用；	個	10	
						m 2	10		
						m 3	0.192		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
蓋	E桝用铸铁蓋(歩道用) φ870用	組		6		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； 蓋（材料費）	組 組	1 1		
蓋	E桝用铸铁蓋(車道用) φ870用	組		7		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； 蓋（材料費）	組 組	1 1		
蓋	E桝用铸铁蓋(歩道用) φ700用	組		1		蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； 蓋（材料費）	組 組	1 1		
蓋	E桝用铸铁蓋(歩道用) 500×1200用	組		3		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； 蓋（材料費）	組 組	1 1		
蓋	RT桝用铸铁蓋(歩道用) φ750用	組		22		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； 蓋（材料費） 首ブロック(レジンコンクリート製) φ750×100	組 組 組	1 1 1		
蓋	RT桝用铸铁蓋(車道用) φ750用	組		9		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； 蓋（材料費） 首ブロック(レジンコンクリート製) φ750×100	組 組 組	1 1 2		
蓋	NTT人孔蓋改修用 铸铁蓋(車道用) φ750用	組		6		< 1 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； 蓋（材料費）	組 組	1 1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋	P柵用鉄蓋 φ600	組		9		＜ 1 組当り＞ 蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下； 蓋（材料費）	組 組	1 1	
道路修繕		式		1					
道路土工		式		1					
掘削工 （夜間）		m3		1,100					
掘削	土砂 オープンカット 押土無 障害無 5,000m3未満	式		1		掘削 土質=土砂；施工方法=オープンカット；押土の有無=無し； 障害の有無=無し；施工数量=5,000m3未満；	m 3	1,100	
残土等処理工(夜間)		式		1					
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	式		1		土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=3.5km以下；	m 3	1,080	
残土等処分		式		1		残土等処分	m 3	1,080	
舗装工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					(当 初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
切削オーバーレイ工(夜間)		式		1						
切削オーバーレイ	平均切削厚5cm 段差すりつけ無 ポーラスアスファルト混合物(13)	m2		7,700		< 1 m2当り > 路面切削 施工区分・平均切削深さは全面切削6cm以下(4000m2を超え)；段差すりつけの撤去作業=無し；費用の内訳=全ての費用； 排水性舗装・表層（車道・路肩部） 平均施工幅員=2.4m以上；1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm；導水パイプの設置=無し； 材料=各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満)；瀝青材料の規格=タックコート PKR(ゴム入り)；	m 2	1		
切削オーバーレイ(支道車道部2号)	7cm以下 一層 段差すりつけ無 再生密粒度アスファルト混合物(13)	m2		33		< 1 m2当り > 切削オーバーレイ 平均切削深さは7cm以下；即日舗設の層数=一層；すりつけの区分=無し；舗装厚(一層目)(実数入力)=40 mm；アスファルト材料(一層目)=各種；締固め後密度(一層目)(実数入力)=2.35 t/m3；瀝青材料種類(一層目)=タックコート；	m 2	1		
切削オーバーレイ(支道車道部3号)	7cm以下 一層 段差すりつけ無 再生密粒度アスファルト混合物(13)	m2		138		< 1 m2当り > 切削オーバーレイ 平均切削深さは7cm以下；即日舗設の層数=一層；すりつけの区分=無し；舗装厚(一層目)(実数入力)=30 mm；アスファルト材料(一層目)=各種；締固め後密度(一層目)(実数入力)=2.35 t/m3；瀝青材料種類(一層目)=タックコート；	m 2	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
切削オーバーレイ(支道車道部4号)	7cm以下 一層 段差すりつけ無 再生密粒度アスファルト混合物(13)	m2		1,440		< 1 m2当り > 切削オーバーレイ 平均切削深さ=7cm以下；即日舗設の層数=一層；すりつけの区分=無；舗装厚(一層目)(実数入力)=40 mm；アスファルト材料(一層目)=各種；締固め後密度(一層目)(実数入力)=2.35 t/m3；瀝青材料種類(一層目)=タックコート；	m 2	1		
殻運搬(路面切削)	アスファルト殻(切削)	m3		448		< 1 m3当り > 殻運搬（路面切削） DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=6.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1		
殻処分	アスファルト殻(切削)	m3		448		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m 3	1		
アスファルト舗装工(乗入部Ⅱ種)(夜間)		式		1						
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	m2		86		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上 3.0m以下	m2		86		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上 2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚 50mm 1.4m以上 3.0m以下	m2		86		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚（70mm以下）(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
アスファルト舗装工(支道乗入部Ⅱ種)(夜間)		式		1						
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	m2		22		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工；材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 50mm 1.4m以上 3.0m以下	m2		22		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚（70mm以下）(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚 50mm 1.4m以上 3.0m以下	m2		22		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚（70mm以下）(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
アスファルト舗装工(乗入部Ⅲ種)(夜間)		式		1						

見積参考資料

工事名	国道 1 号上鳥羽南電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：整備工事業務					(当 初)	工種区分	C ・ C ・ B O X 工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 300mm	m2		27		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=300 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) 舗装厚 100mm 1.4m以上3.0m以下	m2		27		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
						基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚 50mm 1.4m以上3.0m以下	m2		27		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
透水性舗装工(歩道一般部)(夜間)		式		1					
フィルター層	砂 仕上り厚 50mm	m2		153		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満；	m 2	1	

見積参考資料

工事名		国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務				（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
下層路盤(歩道部)		再生クラッシャー RC-30 仕上り厚 100mm	m2		153		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシャー RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
表層		開粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚40mm 1.4m以上 2.4m未満	m2		153		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上2.4m未満；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満)；	m 2	1		
透水性舗装工(支道歩道一般部)(夜間)			式		1						
フィルター層		砂 仕上り厚 50mm	m2		374		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満；	m 2	1		
下層路盤(歩道部)		再生クラッシャー RC-30 仕上り厚 100mm	m2		374		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシャー RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
表層		開粒度アスファルト混合物(13) 舗装厚40mm 1.4m以上 2.4m未満	m2		374		< 1 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=1.4m以上2.4m未満；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm；材料=各種(2.00以上2.10t/m3未満)；	m 2	1		
ブロック舗装工(歩道一般部)(夜間)			式		1						
フィルター層		砂 仕上り厚 50mm	m2		2,900		< 1 m2当り > フィルター層 平均厚さ=40mm以上60mm未満；	m 2	1		

見積参考資料

工事名		国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務				（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
下層路盤(歩道部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 100mm	m2		2,900		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装		透水性平板ﾌﾞﾛｯｸ 30cm×30cm×6cm	m2		2,900		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=30cm×30cm；	m 2	1		
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工(乗入部Ⅰ種)(夜間)			式		1						
下層路盤(車道・路肩部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 250mm	m2		288		< 1 m2当り > 下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚(実数入力)=250 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装		透水性平板ﾌﾞﾛｯｸ 30cm×30cm×6cm	m2		288		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=30cm×30cm；	m 2	1		
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工(乗入部Ⅱ種)(夜間)			式		1						
下層路盤(車道・路肩部)		再生クラッシュラン RC-30 仕上り厚 350mm	m2		654		< 1 m2当り > 下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚(実数入力)=350 mm；施工区分=2層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装		平板ﾌﾞﾛｯｸ 30cm×30cm×8cm	m2		654		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=30cm×30cm；	m 2	1		

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
ﾌﾞﾛｯｸ舗装工(乗入部Ⅲ種)(夜間)		式		1						
下層路盤(車道・路肩部)	再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-30 仕上り厚 550mm	m2		213		< 1 m2当り > 下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚(実数入力)=550 mm；施工区分=3層施工； 材料=再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装	平板ﾌﾞﾛｯｸ 30cm×30cm×8cm	m2		213		< 1 m2当り > 特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=30cm×30cm；	m 2	1		
誘導ﾌﾞﾛｯｸ舗装工(夜間)		式		1						
ﾌｨﾙﾀｰ層	砂 仕上り厚 50mm	m2		640		< 1 m2当り > ﾌｨﾙﾀｰ層 平均厚さ=40mm以上60mm未満；	m 2	1		
下層路盤(歩道部)	再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-30 仕上り厚 100mm	m2		640		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1		
特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装	視覚障害者誘導用 ﾌﾞﾛｯｸ 30cm×30cm×6cm(透水性)	m2		640		< 1 m2当り > 特殊ﾌﾞﾛｯｸ舗装 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=30cm×30cm；	m 2	1		
縁石工		式		1						
縁石工(夜間)		式		1						

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	縁石A 180/230×250×600(両面R)	m		305		< 1 m当り> 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(600mm以下、50kg以上100kg未満)；m当り歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ使用量(実数入力)=1.65 個/m；基礎碎石規格=再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-40；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種)；養生工の有無=有り；	m	1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	縁石B 180/190×100×600(片面R)	m		82		< 1 m当り> 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(600mm以下、50kg未満)；m当り歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ使用量(実数入力)=1.65 個/m；基礎碎石規格=再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-40；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種)；養生工の有無=有り；	m	1		
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ	縁石C 180/190×100×600(片面R)	m		24		< 1 m当り> 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=各種(600mm以下、50kg未満)；m当り歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ使用量(実数入力)=1.65 個/m；基礎碎石規格=再生ｸﾗｯｼｬｰﾝ RC-40；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=生ｺﾝｸﾘｰﾄ(各種)；養生工の有無=有り；	m	1		
防護柵工		式		1						
防止柵工(夜間)		式		1						

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
転落(横断)防止柵	柵高 0.8m 塗装品 (景観色)ﾌﾚｷﾞｽﾄ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込 流用品	m		244		< 1 m当り> 防護柵（横断・転落防止柵）設置工 施工区分=ﾌﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ建込；防護柵種類=ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式；支柱間隔=3m；施工規模による加算=100m以上(標準)；時間的制約を受ける場合の補正=有；夜間作業の補正=有；	m	1	
区画線工		式		1					
区画線工(夜間)		式		1					
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		1,650		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		99		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
熔融式区画線	熔融式手動 実線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		46		＜ 1 m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=熔融式手動；豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線 30cm；時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 熔融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
熔融式区画線	熔融式手動 破線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		3		＜ 1 m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=熔融式手動；豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=破線 15cm；時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 熔融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
熔融式区画線	熔融式手動 破線 30cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		92		＜ 1 m当り＞ 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=熔融式手動；豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=破線 30cm；時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 熔融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		250		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm； ； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 60cm 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		3		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm； ； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用； 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=ゼブラ 15cm； ； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m m	1 1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		59		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装有 白色	m		120		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=矢印・記号・文字 15cm換算； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=有り； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
溶融式区画線	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.5mm 排水性舗装無 白色	m		66		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=矢印・記号・文字 15cm換算； 時間的制約の有無=著しく有り； 塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
構造物撤去工		式		1					

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務（ 当 初 ）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
防護柵撤去工(夜間)		式		1					
防護柵(横断・転落防止柵)撤去	H=0.8m	m		244		< 1 m当り > 防護柵（横断・転落防止柵）撤去工 施工区分=コンクリート建込；防護柵種類=ビーム式・パネル式； 支柱間隔=3m；時間的制約を受ける場合の補正=有； 夜間作業の補正=有；	m	1	
構造物取壊し工(夜間)		式		1					
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械 施工	m3		35		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物；工法区分=機械施工；時間 的制約の有無=著しく有り；夜間作業の有無=有り； 低騒音・低振動対策=必要；	m 3	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 15c m以下	m		2,180		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以 下；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗 装版厚 15cm以下	m2		1,650		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒 音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の 有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
舗装版破砕	コンクリート舗装版 舗 装版厚 15cm以下	m2		3,600		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=コンクリート舗装版；障害等の有無=無し；騒 音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の 有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
運搬処理工(夜間)		式		1						
殻運搬	アスファルト殻(掘削)	m3		67		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎；積込工法区分=機械積込（騒音対策不要、厚15cm超）又(騒音対策必要)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=7.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1		
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		229		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし；積込工法区分=機械積込；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有無)=14.4km以下；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1		
殻処分	アスファルト殻(掘削)	m3		67		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m 3	1		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		229		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m 3	1		
直接工事費		式		1						
共通仮設費		式		1						
共通仮設費		式		1						

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称	単位	数量		
運搬費		式		1						
建設機械運搬費		式		1		貨物自動車による運搬（1車1回） 運搬区分=路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0m；片道運搬距離(実数入力)=7.7 km；その他の諸料金の有無=無；運搬中の賃料(損料)の有無=有；	台		2	
仮設材運搬費	軽量鋼矢板、切梁、腹起し	式		1		仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=関東・中部・近畿；片道運搬距離(実数入力)=7.7 km；製品長区分=12m以内；運搬割増率=各種(実数入力)；運搬割増率(実数入力)=0 無；その他の諸料金の有無=無；	t		4	
						仮設材等の積込み，取卸し費 作業区分=積込み,取卸し(往復分)；	t		2	
技術管理費		式		1						
道路施設基本データ作成費		式		1		道路施設基本データ作成費	工事		1	
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地				
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=大都市（2）；除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）				
純工事費		式		1						

見積参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業（工事業務）：整備工事業務					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
現場管理費		式		1		施工地域補正=大都市（2）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）				
工事原価		式		1						
一般管理費等		式		1						
工事価格		式		1						
消費税相当額		式		1						
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

見積参考資料（別紙）

工事名：国道1号上烏羽南電線共同溝PFI事業

この「見積参考資料（別紙）」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料（別紙）」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
なお、この「見積参考資料（別紙）」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

1. 各種補正

1) 間接工事費

施工時期補正	無し
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

2. その他

歩掛及び単価適用年：入札月

材 料 単 価：土木工事標準積算基準書の通りであり、商品名については回答しない。

施 工 時 間：本工事の作業時間帯は、下表に示すとおりとする。

工種または種別・細別	時間帯	摘要
全ての工種	作業開始 22:00 作業終了 6:00	☐ 時間的制約を受ける ☒ 時間的制約を著しく受ける

週休2日の補正：4週8休以上（ただし、施工単価・道路施設基本データ作成費、道路工事完成図書等作成費は補正の対象としない）

3. 見積歩掛（工事）

本業務の積算は、「土木工事標準積算基準書」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。

なお、夜間割り増しについては、労務単価を補正するため歩掛には考慮しない。

① 舗装版破碎積込(電線共同溝工)：アスファルト舗装版 15cmを超え35cm以下 100m²当り

名 称	規 格	単位	数量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	1.88		
普通作業員		人	5.25		
バックリ運転	山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 1.7t吊	日	1.88		NO.01-1単価表
諸雑費(まるめ)		式	1		
日当り施工量		m ² /日	53.2		

※1 運搬作業は、別途計上する。

※2 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること。

NO.01-1単価表 バックリ運転『山積0.28m³(平積0.2m³) 1.7t吊』 1日当り

名 称	規 格	単位	数量	単価	備 考
運転手(特殊)		人	1	—	
軽油		L	37.8	—	
バックリ(クレーン) [超小旋回型・クルー機能付き]	山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 1.7t吊	日	1	—	賃料
諸雑費(まるめ)		式	1		

② 管路材設置：埋設部 単管設置(UC-PS管) 100m当り

名 称	規 格	単位	数量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	1.1	※1	
特殊作業員		人	20	※1	
普通作業員		人	3.6	※1	
諸雑費(率+まるめ)	2%	式	1		
日当り施工量		m/日	90.9		

※1 諸雑費は、清掃及び導通検査機械(コップレッサ等)の損料及び運転経費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する

※2 本歩掛には、電線共同溝工における管路材の設置、管の接続労務、管路受台(ハブ)の設置労務、管路清掃及び導通試験を含む

※3 電線共同溝用管(UC-PS管)、呼び線、異種管継手、キャップの材料費は別途計上するため、本歩掛には含まない

※4 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること

③ 管路材設置：露出部 単管設置(UC-PS管)

100m当り

名 称	規 格	単位	数量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	7.2	※1	
特殊作業員		人	5.2	※1	
普通作業員		人	24	※1	
諸雑費(率+まるめ)	2%	式	1		
日当り施工量		m/日	13.9		

※1 諸雑費は、清掃及び導通検査機械(コックレッサー等)の損料及び運転経費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する

※2 本歩掛には、電線共同溝工における管路材の設置、管の接続労務、管路受台(スリ-サ)の設置労務、管路清掃及び導通試験を含む

※3 電線共同溝用管(UC-PS管)、呼び線、異種管継手、キャップの材料費は別途計上するため、本歩掛には含まない

※4 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること

④ 管路材設置：埋設部 単管設置(KGP管)

100m当り

名 称	規 格	単位	数量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	1.1	※1	
特殊作業員		人	20	※1	
普通作業員		人	3.6	※1	
諸雑費(率+まるめ)	2%	式	1		
日当り施工量		m/日	90.9		

※1 諸雑費は、清掃及び導通検査機械(コックレッサー等)の損料及び運転経費の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する

※2 本歩掛には、電線共同溝工における管路材の設置、管の接続労務、管路受台(スリ-サ)の設置労務、管路清掃及び導通試験を含む

※3 電線共同溝用管(KGP管)、呼び線、異種管継手、キャップの材料費は別途計上するため、本歩掛には含まない

※4 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること

⑤ 無収縮コンクリート打設：人力打設

1m3当り

名 称	規 格	単位	数量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	1.5	※1	
特殊作業員		人	4	※1	
普通作業員		人	2.5	※1	
諸雑費(率+まるめ)	36%	式	1		
日当り施工量		m3/日	0.667		

※1 諸雑費は、発動発電機、グラウトポンプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する

※2 無収縮コンクリートの標準混和量は1875kg とするが、材料費は別途計上するため本歩掛には含まない

※3 日当り作業量は、1班当りの数量を記載すること

4. 施工歩掛

以下の独自歩掛の内容について、提示する。

・仮設工—土留・仮締切工(夜間)—軽量鋼矢板(電線共同溝)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽量鋼矢板設置・撤去		m	969	
軽量鋼矢板	I型 H=2.0m	t	0.957	購入(新品)
軽量鋼矢板(中古品)	I型 H=2.5m	t	1.482	購入(中古品)
軽量鋼矢板賃貸料(修理費・損耗費含む)	I型 H=3.0m 供用期間 41日	t	1.778	賃料
鋼製切梁ホ-ト	1200~1800(程度) 供用期間324日	本	4	賃料
汎用腹起し	幅110~120 高さ120~130×4000 供用期間324日	本	4	賃料
スクラップ	ヘビーH1	t	-2.439	

・仮設工—交通管理工(夜間)—交通誘導警備員

名称	規格	単位	数量	摘要
交通誘導警備員A	夜間	人日	1456	
交通誘導警備員B	夜間	人日	1456	

見積参考資料(材料単価等)

国道1号上鳥羽南地区電線共同溝工事

本工事において使用する資機材等のうち単価設定した材料単価等は下記のとおりである。

工事名	国道1号上鳥羽南地区電線共同溝工事		工種区分		電線共同溝	
適用工種	名称	規格	単位	単価	備考	条件
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-1-1 桝 950 × 3300 × 1100	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-1-2 桝 950 × 3300 × 1100	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-1-3 桝 950 × 3300 × 1100	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-2-1 桝 950 × 1950 × 1100	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-2-2 桝 950 × 1950 × 1100	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-3 桝(歩道用) 1000 × 3000 × 1800	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-3 桝(車道用) 1000 × 3000 × 1800	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-5 桝 840 × 4700 × 1500	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-6 桝 650(1200) × 3200 × 1100(700)	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	E-7 桝 950 × 1950 × 1500	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	プレキャストボックス	RT-4 桝(歩道用片棚) 950 × 2200 × 1500	個		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	蓋(铸铁蓋)	E 桝 歩道用 φ870用 T-25	組		後日通知	現場着単価

工事名	国道1号上鳥羽南地区電線共同溝工事		工種区分		電線共同溝	
適用工種	名称	規格	単位	単価	備考	条件
電線共同溝工	蓋(鋳鉄蓋)	E柵 車道用 φ870用 T-25	組		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	蓋(鋳鉄蓋)	E柵 歩道用 500×1200用 T-25 シリンダー錠別途	組		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	蓋(鋳鉄蓋)	RT柵 歩道用 φ750 T-25	組		後日通知	現場着単価
電線共同溝工	蓋(鋳鉄蓋)	RT柵 車道用 φ750 T-25	組		後日通知	現場着単価
舗装工	透水性平板ブロック	30cm×30cm×6cm	枚		後日通知	現場着単価
舗装工	平板ブロック	30cm×30cm×8cm	枚		後日通知	現場着単価
舗装工	視覚障害者誘導用ブロック	30cm×30cm×6cm(透水性)	枚		後日通知	現場着単価
以下余白						
※本資料は、各資材の単価・規模等に基づき記載しており、当該工事すべての資材を記載するものではない。 ※公告時点における各資材の単価・規模等に基づき見積参考資料(材料単価等)を明示している。 そのため、入札予定時期における見積等の結果、対象資機材等の増減が生じる場合がある。						

見 積 参 考 資 料

業務名：国道 1 号上鳥羽南地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）：調整マネジメント業務
（工事段階）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1）調整マネジメント業務（工事段階）

①業務計画

1 式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		2.00	6.00	2.00			

②工事監理

1 年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
工事監理		23.40	117.00	23.40			

③電線共同溝台帳作成

1 式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		2.00	2.00		4.00		
現地踏査			10.00		20.00		
台帳作成		4.00	36.00		108.00		
照査		4.00					

見 積 参 考 資 料

業務名：国道1号上鳥羽南地区電線共同溝PFI事業（工事監理業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局

京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 工事監理業務

①業務計画

1 式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
業務計画			2.00	6.00			

②監理業務

1 年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
監理業務			11.70	117.00			

③打合せ

1 年当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
打合せ			2.00	6.00			

見 積 参 考 資 料

業務名：国道 1 号上鳥羽南地区電線共同溝 P F I 事業（維持管理業務）：点検・補修業務

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1) 点検・補修業務

① 日常点検

維持管理業務開始後、年度毎に 1 回（定期点検を行う年度は日常点検を実施しない）、合計 12 回を想定している。

1 回当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		1.00	1.00	1.00			
通常点検			2.00	2.00			
点検調書作成			2.00	2.00			
報告書作成		1.00	2.00	2.00			

② 定期点検

維持管理業務開始後 5 年目の年度を初回とし、5 年に 1 回、合計 3 回を想定している。

1 回当たり

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備		2.00	3.00	6.00			
定期点検			22.00	22.00		44.00	
点検調書作成			5.00	5.00		10.00	
報告書作成		2.00	3.00	6.00		6.00	

見 積 参 考 資 料

業務名：国道1号上鳥羽南地区電線共同溝PFI事業（維持管理業務）：調整マネジメント業務（維持管理段階）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を十分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期限は、この業務の入札日までとする。

国土交通省 近畿地方整備局
京都国道事務所 管理第二課

1. 歩掛

本業務の積算は、「設計業務等標準積算基準書、同（参考資料）」によるものとするが、それによらないものは以下の独自歩掛とする。【後日提示】

1）調整マネジメント業務（維持管理段階）

①計画準備

1式当り

	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
計画準備	4.00	8.00	24.00	24.00	18.00		

②調整監理

1年当り

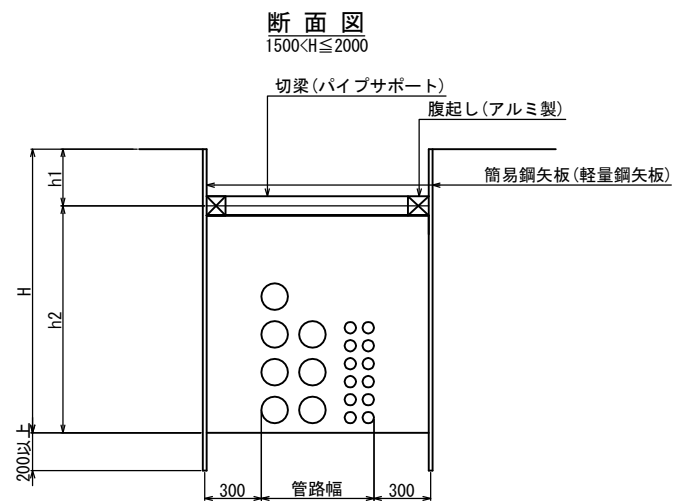
	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
調整監理	3.00	6.00	12.00	12.00	30.00		台帳更新等含む

③打合せ

1年当り

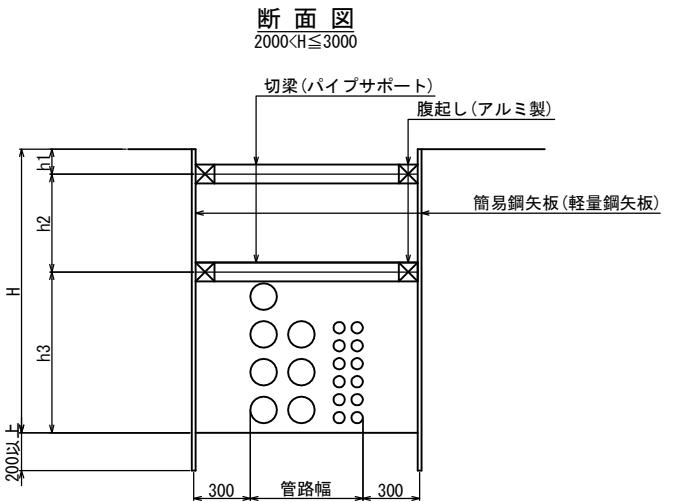
	直接人件費						備考
	技師長	主任技師	技師（A）	技師（B）	技師（C）	技術員	
打合せ			6.00	6.00			

仮設構造図(1) S=1:20



寸法表

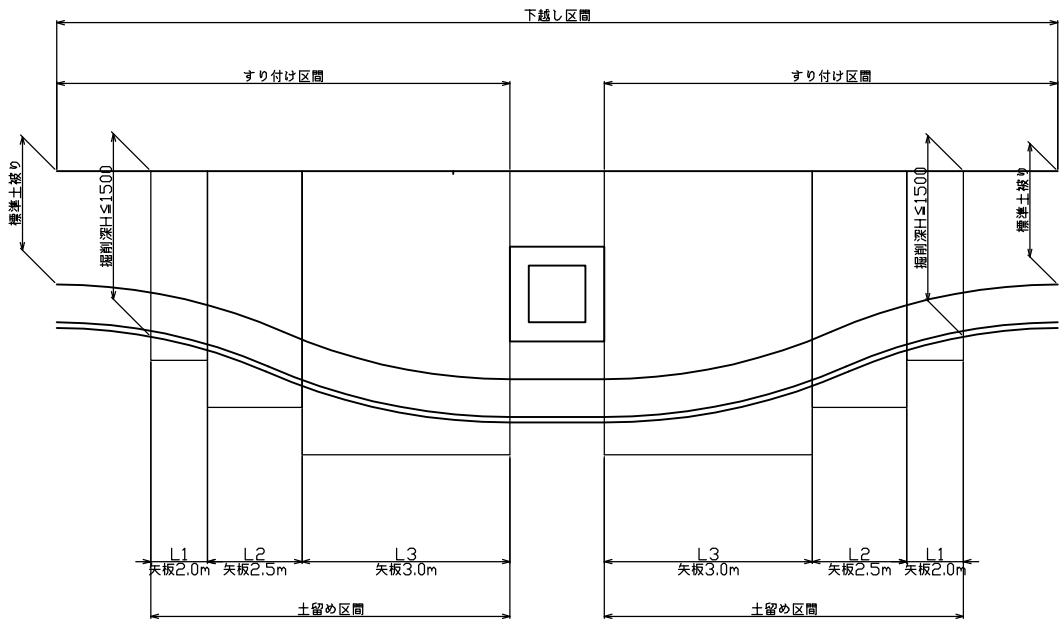
H(掘削深)	h1	h2	切梁間隔	軽量鋼矢板	切梁 パイプサポート	腹起し アルミ製
1500<H≤1800	300	1200≤h2≤1500	2500	LSP-I型 t=4mm L=2000	7.5t荷重相当	130*110
1800<H≤2000	500	1300≤h2≤1500	2500	LSP-I型 t=4mm L=2500	7.5t荷重相当	130*110



寸法表

H(掘削深)	h1	h2	h3	切梁間隔	軽量鋼矢板	切梁 パイプサポート	腹起し アルミ製
2000<H≤2300	300	700	1000<h2≤1300	2500	LSP-I型 t=4mm L=2500	7.5t荷重相当	130*110
2300<H≤2800	300	700	1300<h2≤1800	2500	LSP-II型 t=4mm L=3000	7.5t荷重相当	130*110
2800<H≤3000	300	1100	1400<h2≤1600	2500	LSP-II型 t=4mm L=3500	7.5t荷重相当	130*110

管路下越し部

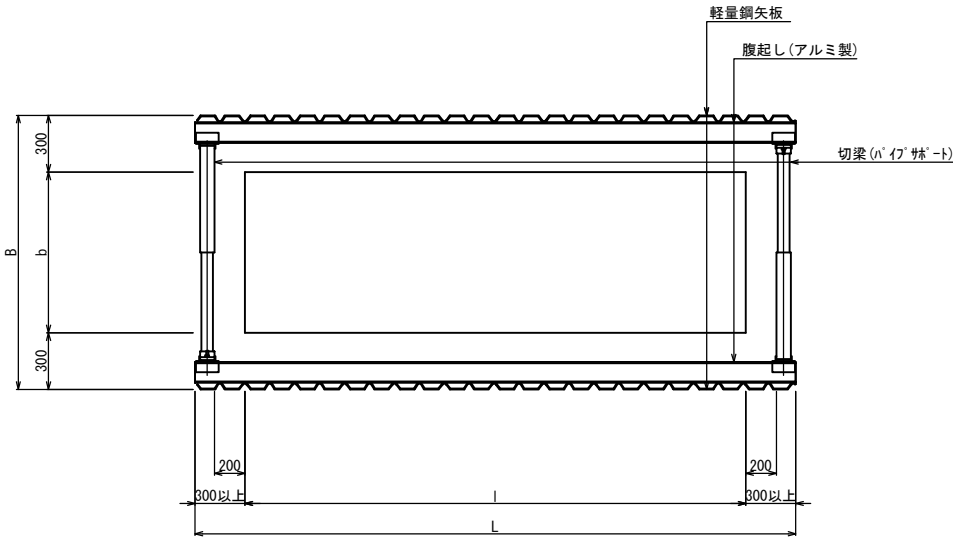


参考資料

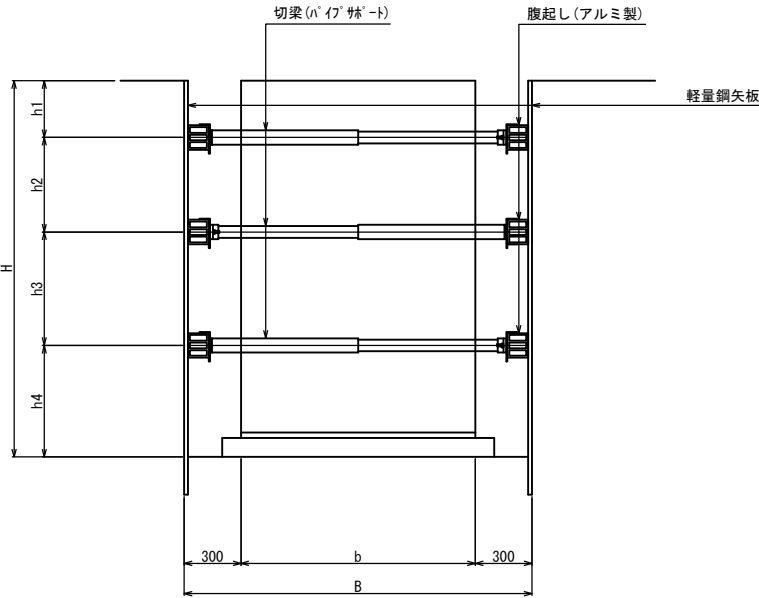
工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PFI事業		
図面名	仮設構造図(1)		
作成年月日	令和7年9月12日		
縮尺	1:20	図面番号	2葉之内1
会社名			
事業者名	近畿地方整備局 京都国道事務所		

仮設構造図(2) S=1:20

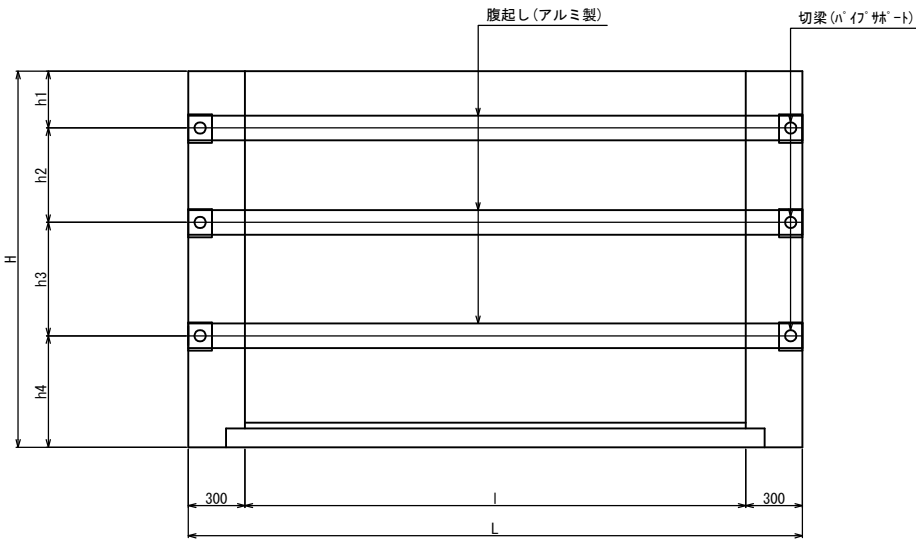
平面図



断面図



側面図



寸法表

柵型	B	b	H	h1	h2	h3	h4	L	l	軽量鋼矢板	切梁ハ'イ'チ'ート	腹起し アルミ製
E-1-1, -2	1800	1200	1630	300	600	0	730	4200	3600	LSP-I 型 t=4mm H=2000	7.5t荷重相当	130*110
E-1-3	1800	1200	1750	300	600	0	850	4200	3600	LSP-I 型 t=4mm H=2000	7.5t荷重相当	130*110
E-2-1	1800	1200	1650	300	600	0	750	2800	2200	LSP-I 型 t=4mm H=2000	7.5t荷重相当	130*110
E-2-2	1800	1200	1730	300	600	0	830	2800	2200	LSP-I 型 t=4mm H=2000	7.5t荷重相当	130*110
E-3	1900	1300	2820	300	600	600	1320	4000	3400	LSP-I 型 t=4mm H=3000	7.5t荷重相当	130*110
E-5	1700	1100	2210	300	600	0	1310	5600	5000	LSP-I 型 t=4mm H=2500	7.5t荷重相当	130*110
E-6	1940	1340	1630	300	600	0	730	4040	3440	LSP-I 型 t=4mm H=2000	7.5t荷重相当	130*110
E-7	1800	1200	2060	300	600	0	1160	2800	2200	LSP-I 型 t=4mm H=2500	7.5t荷重相当	130*110
RT-1, -3	1920	1320	2050	300	700	0	1050	2980	2380	LSP-I 型 t=4mm H=2500	7.5t荷重相当	130*110
RT-2	1920	1320	2150	300	700	0	1150	2980	2380	LSP-I 型 t=4mm H=2500	7.5t荷重相当	130*110
RT-4	1670	1070	2050	300	700	0	1050	2960	2360	LSP-I 型 t=4mm H=2500	7.5t荷重相当	130*110

参考資料

工事名	国道1号上鳥羽南電線共同溝PF1事業		
図面名	仮設構造図(2)		
作成年月日	令和7年9月12日		
縮尺	1:20	図面番号	2葉之内2
会社名			
事業者名	近畿地方整備局 京都国道事務所		